



早朝の帆曳き漁 萩野谷 泰伸 (50卒) 提供



第462号

2024年1月19日発行  
日工同窓会広報委員会  
編集責任者

瀧澤 之靖  
発行人 細金 敦

日工同窓会事務局  
日工同窓会館  
〒317-0077  
日立市城南町5丁目14番13号  
TEL (0294) - 21 - 5237  
FAX (0294) - 21 - 5241  
E-mail:  
dosokaij@net1.jway.ne.jp  
http://nikkoudousokai.net/

印刷所  
大成印刷株式会社

第61回技能五輪全国大会

あけましておめでとうございます。本年も広報委員会一同、同窓会の皆様に親しんでもらえる会報づくりを心がけて参ります。

2023年11月17日〜20日にかけて愛知県の国際展示場など13会場で開催された。同窓生から44名(うち会員は39名)が競技に参加した。結果は、金・1個、銀・7個、銅・8個の結果となった。今回は日立グループとして金を逃した結果となった。

第62回は同じく愛知県で11月に開催予定である。

◎金賞

〔電気溶接〕  
堀江 翔氏 (106卒・三菱重工)

◎銀賞

〔旋盤〕  
谷 鳳人氏 (107卒・那珂)

今号の主な内容

技能五輪全国大会メダリスト

会長・代表副会長新年のご挨拶 1面

支部長年頭挨拶 2面

年男・年女 3面

現代の名工受賞 4面

在会30・40年同期会 5面

学校だより 6面

本部会員の頁 7面

日専校歴史写真・消息・編集後記 8面

11面

9面

10面

11面

14面

15面

16面

技能五輪競技風景

〔電子機器組立て〕  
佐久間 大地氏 (106卒・水戸)

〔工場電気設備〕  
高曽根 大樹氏 (107卒・大みか)

〔電気溶接〕  
佐藤 旭氏 (107卒・水戸)

〔電気溶接〕  
渡辺 哲平氏 (107卒・土浦)

〔プラスチック金型〕  
芳賀 一徹氏 (107卒・佐和)

〔旋盤職種〕  
◎銅賞  
吉田 駿氏 (106卒・三菱重工)

〔フライス盤〕  
藤崎 蓮氏 (106卒・那珂)

〔構造物鉄工〕  
鈴木 優斗氏 (106卒・日立)

〔メカトロニクス〕  
中山 凱介氏 (106卒・多賀)

〔精密機器組立て〕  
吉村 海生氏 (107卒・厚木)

〔電気溶接〕  
寺門 颯真氏 (107卒・日立)

〔メカトロニクス〕  
高部 颯矢氏 (107卒・多賀)

〔工場電気設備〕  
渡部 晴雅氏 (108卒・大みか)

〔電気溶接〕  
山本 爽楽氏 (105卒・三菱重工)

# 会長新年の挨拶

今 泉 良



明けましておめでとうございます。同窓会員の皆様におかれましては、2024年の新春を健やかに

お迎えのこととお慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、国内の新型コロナウイルスの流行は一段落し、インフルエンザと同等の「五類」へ移行、旅行による人の移動など、感染予防に留意しながらではあります。コロナ禍前の通常生活にほぼ戻ったと言えるかと思えます。

しかし、2月のトルコ・シリア大地震、9月のモロッコ大地震・リビアの大洪水、10月のアフガニスタン大地震などの大規模災害が世界中で頻発し、多数の死傷者が発生。規模は小さいながらも、日立市でも、9月に台風第13号に伴う線状降水帯がかかったことにより、1時間の最大降水量は24年ぶり、1日の降水量は57年ぶりという記録的な大雨で、日専校含め市内各所が被害を受けました。

また、2月にロシアによるウクライナ侵略が1年を経過し、兵士・民間人の死傷者は30万人以上を超え、10月には、パレスチナ自治区ガザを

実効支配するイスラム主義組織ハマスがイスラエルへの攻撃を契機に、イスラエルがパレスチナに侵攻。未だに、停戦など紛争終結の糸口すら見出せていません。

世界で災害や紛争が頻発する一方で、3月の第5回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で「侍ジャパン」が優勝し、大谷翔平選手の大リーグでの活躍が毎日のように報道されるなど、スポーツで日本人の世界的な活躍が目ざれるという嬉しいニュースもありました。

日専校卒業生・同窓会員の活躍にも、目覚ましいものがありました。11月に開催された「第61回技能五輪全国大会」では、日専校卒者が、金賞1・銀賞7・銅賞8・敢闘賞9という輝かしい成果を挙げました。また、令和5年度秋の黄綬褒章を、佐川宏智氏(66卒)と滝安夫氏(70卒)のお二人が受賞、卓越した技能を持つ「現代の名工」を、渡辺誠二氏(70卒・日研支部)と高橋忍氏(72卒・那珂支部)のお二人が受賞されました。日本のモノづくりを代表する榮譽を受けられたことに、改めて敬意を表させていただきます。

さて、日専校の1年を振り返ってみます。3月に72名が無事卒業。4月に57名の新入生を迎え、新年度がスタートしました。8月の「若年者ものづくり競技大会」で、メカトロニクスとフライス盤で敢闘賞、旋盤

で金賞を受賞、先ほど申し上げた「第61回技能五輪全国大会」では、2名の在校生が電気溶接職種に出場し、入賞には至りませんでした。時間内に課題を作成・提出することが出来ました。

また、部活動では、ソフトテニス部が、関東大会県予選ベスト8、個人ペアが関東大会に出場、県新人戦で個人ペアが準優勝という創部初の好成績を収めました。

12月の来年度入学試験選抜では75名の合格者を出しました。いずれも、モノづくりに興味を持ち、配属後活躍出来る可能性を秘めた生徒さんを選び、じっくり時間を掛けて選考しました。そして、迎える2024年。今年

は一体どんな年になるのでしょうか？今年、十二支で言うと「辰年」です。「大きな変化が起きやすい年」と言われているようです。明治維新の契機になった戊辰戦争(1868年)や日露戦争(1904年)が起きています。

一方で、正式な干支は「甲辰」と言い、「甲」は「ものごと」の最初。始まり、芽吹く・成長を、「辰」は「縁起物・権力・栄える」を意味します。すなわち、「甲辰」は「始まりの年であり、芽吹き、活気にあふれ、力がみなぎる年」というような意味になります。いずれにしても、いろいろな変化が起こる年になりそうです。

そこで、「今年、どんな心構えで過ごそうか？」と、年末年始の休み中につらつら考えた結果、この言葉に思い至りました。「悠々として急げ！」。この言葉を愛したのは、古代ローマ帝国初代皇帝のアウグストゥスです。彼は、軍事的な指導者が性急さを持つことを嫌い、次の3つの格言を愛好していたそうです。すなわち「ゆつくり急げ」「大胆な指揮官よりは慎重な指揮官のほうがましだ」「立派にできたのであれば、それは十分早くできたことになる」。この「ゆつくり急げ」は、古代ローマ帝国の公用語であるラテン語で「Festina lente」(フェスティナ・レンテ)と言い、もともとの意味は「良い結果により早く至るためにはゆつくり行くのが良い」、または「歩みが遅すぎても求める結果は得られない」を同時に意味する一方で、日本のある作家が「悠々として急げ！」と意識しました。

「ゆつくり・悠々」とはスピードを落とすこと、「急ぐ」とはスピードをあげること。速くすること、遅くすることは正反対の動きです。でも、実は、両者をうまく組み合わせるところこそ意味があります。「ほどよい速さで着実に進むこと」です。とは言うものの、「ほどよい速さ」とは何でしょうか？

私は、この言葉を「時代は早く流れていくのだから急がなければならぬが、時流に逆らうことなく、ただ流されるでもなく、その状況を落ち着いて判断しながらも、決して歩みを止めないこと」と理解しています。あせることなく、「状況を落ち着いて判断しながら」が「ほどよい速さ」ではないでしょうか。そして、正に人財育成こそ、「悠々として急げ！」の精神で臨むべきであらうと思っています。

最後となりましたが、会員の皆様とご家族の皆様のご健勝と本年が実り多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶と致します。

## 代表副会長新年の挨拶

鈴木 祐一 (71卒)



明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、

健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃より同窓会活動に対し、ご理解と、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ると、5月以降、新型コロナウイルスが五類感染症に移行したことで、交流イベントが各地

(3頁へ続く)

(2頁の続き)

で再開されるようになり、観光地には海外からの観光客も訪れるようになりました。感染の危険が解消したわけではありませんが、コロナ禍以前の賑わいが戻ったように思われます。同窓会活動も夏以降、支部行事の話題が聞かれるようになりました。観測史上平均気温が過去最高となった昨年の夏、暑さには参りましたが、開催の連絡をいただいた支部の企画はどこも大盛況でした。こうした行事に昨年は本部からも役員を派遣することができるようになり、うれしく感じた次第です。また、本部としての行事も昨年の支部長研修会は近隣、遠隔を問わず全支部長に参加をいただき開催することができました。テーマ討論では主に若手会員に向けた取り組みについて意見が出されましたが、SNSを活用して連絡や意見交換ができる仕組みや、支部ホームページを立ち上げて会員の活動を共有する取り組みなどの紹介もあり、それぞれに工夫をされている支部役員の皆様と、これからの同窓会について考える機会となりました。

また、2023年は、米大リーグで日本人初の本塁打王を獲得した大谷選手や将棋で史上初の八冠を達成した藤井棋士の活躍が勇気と感動を届けてくれました。同窓会でも多くの方々が活躍されています。11月に愛知県国際展示場他で開催された第61回技能五輪全国大会には、一昨年に続き、今大会にも沢山の若い同窓会員が参加しました。私も応援にかいきましたが競技開始と同時に漂う緊張感には圧倒される思いがしました。活躍された選手の皆様を大変に誇らしく思いますとともに、関係者の皆さまに同窓会を代表して感謝の気持ちを伝えたいと思います。

2024年の干支は、甲辰(きのえたつ)です。「これまでの努力が実つて夢が叶う年」なのだそうです。会員の皆様そして皆様のご家族にとって良き一年になりますよう祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



**支部長年頭挨拶**  
 国分支部 櫻井 義文(72卒)

明けましておめでとうございます。皆様には良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

国分支部は、パワーグリッドビジネスユニット(国分工場)と日立産機システム(勝田事業所)で構成されており、

国分工場ではパワーグリッド機器である変圧器、ガス絶縁開閉装置を

製造しており、日立産機システム(勝田事業所)では受変電機器の製造をしています。いずれの拠点においても産業や社会インフラを支える重要な役割を担った製品を製造しております。

国分支部の会員数は年々減少傾向が続いており、5年前には200名近く在籍していましたが、現在は126名が製造、設計、品証など様々な職場で活躍しております。そのような中で2023年は厚生労働大臣表彰「黄綬褒章」と茨城県知事表彰「卓越した技能者」を受賞されるという大変喜ばしいニュースがありました。

支部活動においては、昨々までの3年間はコロナ禍により自粛しておりましたが、5月にコロナ感染症法上の位置づけが5類に移行され、少しずつ活動を再開している状況です。今年度は、新入会員昼食懇談会、ブロック別懇親会を実施し、1月にはファミリー行事の新春ボウリング大会、3月には支部総会を予定しております。

国分工場は、事業方針により2025年4月から新体制へ移行するため、支部同窓会活動についても大きな転換期を迎えています。これまで諸先輩方に築いていた、伝統を継承するとともに、環境の変化に対応した運営をしていきたいと考えております。

最後になりますが、日工同窓会の



**豊浦支部 板垣 宏志(78卒)**

更なる発展と、会員の皆様にとって健康で幸多き一年でありますことを心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、豊浦支部を含む旧日立金属が日立グループを離脱し、「株式会社プロリアル」として独立した、支部創立以来?とも思える変動の年でありました。社名を初めてお聞きになる方も多いかと存じますが、新会社として知名度を上げるべく、各種PRに努めておりますので、この機会にご認識をいただけますと幸いです。

そのような環境下において、豊浦支部は、(株)プロリアル茨城工場の「豊浦分工場」に所属する19名の会員で構成されており、主要製品である「社会インフラ(鉄道・通信)」や「ロボット」向けの電線、モーター巻線や自動車部品等を製造する各部門の中核となって活躍しております。

支部活動ですが、昨年度から新型コロナウイルスによる行動規制が撤廃され、

自粛していた活動をようやく再開しました。春の総会と夏のビール祭り、秋には初めての試みとなる肉祭り(高級焼肉食べ放題)を開催しましたが、2年程プランクがあつたためか参加率も高く大盛況でした。小さな支部ではありますが、その分アットホームさはどこにもひけをとらないと自負しております。今後も豊浦支部らしさを大切に後進へ引き継いで行きたいと改めて感じた所です。

先般、工場幹部とお話する機会があり、グループ離脱により「これから先、新入会員が配属される見込みは薄い」との事で、伝統を引き継ぐべき会員数は減少するのが確定的となりましたが、同時に「環境は変わっても、同窓会の果たす役割(人材育成・若年者の指導)には今まで通り期待している」との声もありました。諸先輩が積み上げられた同窓会への信頼を再認識するとともに、会社環境が変わっても、和・誠・開拓者精神を貫いて同窓会の信頼を上積みしていけるよう、活動を更に充実させていきたいと考えております。

最後になりますが、日工同窓会会員の皆様とご家族のご多幸を申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



2024年



「辰」

「新年を迎えるの抱負」



田中 真澄 (80卒・大みか)

明けましておめでとうございます。

日専校を卒業し早30年が経過し、職場の中心で業務に携わり充実した会社生活を過ごしている反面、4回目の年男となり体にもガタが出て来ております。軽い運動でも息切れし易くなり、運動後の筋肉痛も2日後に発症するまでに衰えました。そこで今年の抱負を「健康を維持できる体づくり」として仕事も趣味も健康を維持しながら過ごしていきたいと思えます。健康維持のため日々1万歩を目標に歩くことで足腰の衰えを解消し、家族で観光や遺産巡り、趣味のバイクで花見や紅葉巡りに行き心身のリフレッシュを図りたいと思います。

また、2年間できていない時期があったサッカーやフットサルにもう一度チャレンジし、子供たちに指導ができるように体を作りたいと思います。

最後になりますが、同窓会員の皆様は健康で実り多き一年になりますよう祈念し新年の抱負とさせていただきます。

「新年の抱負」



緒形 洋 (80卒・水戸)

明けましておめでとうございます。

日専校を卒業して水戸工場に配属になり、私も今年48歳になります。振り返ると日専校での3年間は、私の人生でもとても充実した生活だったと懐かしく感じています。

さて、私の今年の抱負は、ありきたりではあります。自身の体調管理です。最近では体のあちこちが痛くなるとなかなか元に戻らず、また、別の場所が痛くなったりと、若いころには無かった身体の変化を痛感しております。

昨年の人間ドックでは初めてメタボ判定を受けてしまい、生活習慣を見直さなければと強く思っています。具体的には、昨年からはじめたジョギングと筋トレを継続しながら食生活を見直し、健康的な身体に変えていき仕事と私生活を充実させていけたらと思います。

最後になりますが、同窓会員の皆様とご家族様の健康と安全を祈念いたしまして、私の新年の抱負とさせていただきます。

「今年の抱負」

あけましておめでとうございます。月日が経つのは早いもので4回目の年男を迎えることになりました。これまでの日々を振り返り、無事に過ごせたのは職



齋藤 泰明 (80卒・神奈川)

場の上長や同僚、そして同窓会の支えがあつてこそだと感謝しております。

さて今年の抱負ですが、休日行っている早朝ランニングを継続することです。健康維持の一環で始めたことがきっかけで、今年で5年目に入ります。抱負なので、タイムを縮めたり大会に参加するなどの計画を立てるべきですが、私の場合は、思うように進まないで挫折する可能性が高いので、あえて計画せずに取り組むことにします。もちろん、こうした時間が確保できるのも、仕事と生活のバランスがとれた状態を維持することが大前提となります。

また日工同窓会神奈川支部の活動においても、コロナ禍の影響により縮小気味ですので、少しずつ同窓会活動を活発にして、コロナ禍前のように戻ることを楽しみにしております。

最後に同窓会の皆様にとって新しい年がより良き年でありませう祈念し、今年の抱負とさせていただきます。

「新年の抱負」



酒井 瑞裕 (80卒・建機)

日工同窓会各支部の皆様、あけまして

おめでとうございます。

月日が経つのは早いもので、4度目の年男を迎える年となりました。

日専校を卒業する頃に思い描いていた大人とは違う48歳の自分となつてしまいました。これまでの会社生活を無事に過ごして来られたのも、同窓会会員の皆様や職場の方々への御指導の賜物と深く感謝いたします。

さて新年の抱負ですが、家族との時間を大切にするという事です。私には2人の娘がいますが、平日は就寝している時間に帰宅することが多く、なかなか夫があう時間が取れないので、寂しい思いをさせてしまっています。その分、週末は一杯愛情を込めてふれあい、「パパ嫌い」と言われないようにしていきたいと思えます。

最後になりますが、同窓会会員の皆様ならびにご家族の皆様が、健康で実りのある一年となりますよう祈念し、新年の抱負とさせていただきます。

「新年の抱負」



北條 浩之 (92卒・土浦)

同窓会員の皆様、あけましておめでとうございます。

月日が経つのは早いもので配属されてから18年目を迎えるようになっています。人生の半分ほどを占める会社生活で大きな

病気が怪我もなく、充実した毎日が過ごせているのは会員の皆様をはじめ、職場の方々のご助力のおかげであり深く感謝いたします。

さて、今年の抱負ですが、一年を通じて15泊以上の夫婦キャンプをすることです。なんだ、そんなことかと思う方もいるかと存じますが、これが意外と難しいのです。

まずは健康であること。これが第一です。屋外で過ごすので少しでも調子が悪ければ中止せざるを得ません。心身ともに健康な一年になるよう過ごしたいと思います。

そして夫婦仲が良いこと。妻の機嫌が悪くては夫婦キャンプは成り立ちません。妻とは出会ってから今年で15年が経ちますがコミュニケーションを大切に、家庭円満で過ごせるよう尽力したいと思えます。

最後になりますが、会員の皆様は健康で実り多い一年になりますよう祈念し、私の抱負とさせていただきます。

「新年の抱負」



田所 翔太 (92卒・日立)

あけましておめでとうございます。

月日が経つのは早いもので3度目の年男を迎えました。職場では現在、大型機械のオペレータ

(5頁へ続く)

〔4頁の続き〕

1を担当しており原子力再稼働に向けて  
尽力しています。また2017年から約  
2年半、日立ハイテクの方に出向でお世  
話になった際、仕事で苦労した中、助け  
ていただいた那珂地区の同窓会員の皆様  
には深く御礼を申し上げます。

一昨年より健康の為、トライアスロン  
をはじめまして、現在は国内最長の佐渡  
国際トライアスロン(アストロマン)の完  
走をめざしております。スイム4km、バ  
イク190km、ラン42kmと非常に過酷なレ  
スとなりますので、事前準備など入念に  
行う必要があります。仕事で培ってきた  
段取り力を活かして、公私のバランスを  
取りながら完走に向けて計画的にトレ  
ニングをしていきたいと思っています。

最後になりますが、同窓会会員の皆様  
が健康で実り多い一年になりますようご  
祈念申し上げ、今年の抱負とさせていただきます。

「新年の抱負」



樋熊 大和  
(92卒・山崎)

日工同窓会会員の皆様、あけましてお  
めでとうございます。

月日が経つのは早く、私も今年で36歳  
になります。

これまで無事に過ごして来られたのも、  
日専校で学べたことをはじめ、上司・職  
場の仲間・関連部門の方々など多くの皆

様からのご指導があり、支えられたこと  
に深く感謝いたします。

今年の抱負は、お互いに助け合える人  
間関係を作れるように心がけて行動した  
いと考えています。

私事ですが、2024年の今年より新  
しい職場で仕事をしていくことになりま  
した。そのため、コミュニケーションを  
大切にすることが大事な年になると思っ  
ています。今までいた職場での経験や、  
学んだことを活かして新しい職場でも安  
全第一で楽しく仕事出来るように頑張  
ります。

最後になりますが、同窓会会員の皆様  
とご家族の皆様が健康で飛躍する年にな  
ります様、ご祈念申し上げます。

「新年を迎えての抱負」



齋藤 周平  
(92卒・日高)

同窓会会員の皆様、明けましておめで  
とうございます。

月日が流れるのはとても早く、気が付  
けば17年が経とうとしていることに私自  
身、驚いています。

これまで会社生活が無災害で送ること  
ができたのも、日頃よりご指導いただい  
ている職場および同窓会の先輩方など、  
多くの皆様の支えがあつての事だと深く  
感謝申し上げます。

私の『新年を迎えての抱負』ですが、  
昨年、職場に高等課程から新たに仲間が

加わりました。

10数年の間、職場では私が一番若手  
の立場だったので、初めての先輩です。「教  
わる」立場が「教える」立場が変わった  
ことに戸惑いはありますが、自分がいま  
で教えていただいた事に加えて、自分な  
りに「伝え方」や「表現」を考えて指導し  
一緒に成長していければと思います。

腹囲は入社以来、最大を記録していま  
すが、後輩には大きな背中を見せていき  
たいと思います。

最後になりますが、同窓会会員の皆様  
が健康で実り多き一年になりますようご  
祈念し、新年の抱負とさせていただきます。

「新年を迎えての抱負」



松丸 大我  
(104卒・大みか)

明けましておめでとうございます。

月日が経つのはとても早く、日専校を  
卒業して社会人生活5年目を迎えました。  
これまで何事もなく会社生活を送って来  
られたのは、同窓会員の皆様や日頃から  
ご指導してくださる職場の方々の支えが  
あったからこそだと思います。私はこの  
5年間で技能五輪を2年間、そして現在  
所属している職場で3年間業務に取り組  
んで来ました。

この5年間を振り返り、技能五輪で1  
年目選手として出場した初の全国大会  
現地出張での初作業、緊張や新たに覚え  
ることの多さで頭が一杯になったことを

思い出しました。しかし月日が経過する  
とともに訓練や仕事にも慣れ、自身の技  
術も成長したと実感しております。

新たな年を迎え、今年も「新」「初」  
の付く事をした時の気持ちや緊張感を忘  
れずに、初心に戻って一つひとつの仕事  
を丁寧、かつ気を抜かず無災害を継続し  
ていきます。

最後になりますが、同窓会員の皆様  
が健康で良い1年となりますよう祈念し、  
新年の抱負とさせていただきます。

「二〇二四年に達成したい事」



海野 舞桜  
(104卒・佐和)

日工同窓会員の皆様、明けましておめ  
でとうございます。

今年で日専校を卒業してから5年とい  
う月日が経とうとしております。これま  
で充実した会社生活を送って来られたの  
は、先輩方の日頃からの指導ならびに  
ご支援のおかげです。心より御礼申し上  
げます。

私は現在、入社してから4年ほどお世  
話になった部署を離れ、保全係で勤務し  
ております。保全係では、主に生産で使  
用する設備の定期メンテナンスや修理を  
しています。新しく覚えなければいけな  
い事が多いため、元々物覚えの悪い私に  
とっては苦戦の毎日ですが、休日はいっ  
かりフレッシュし、モチベーションを  
維持できています。

私が、二〇二四年に達成したい事  
の一つが海外旅行です。コロナ禍も明け、  
今年こそ一歩踏み出そうと先日早速パス  
ポートを申請し、航空券を購入しました。  
大変な経験になると思いますが、価値  
観をアップデートするきっかけにできれ  
ば良いなと思っています。

最後になりますが、日工同窓会員の皆  
様が健康で幸せな一年を過ごされること  
を心より祈願し、新年のご挨拶とさせて  
いただきます。

「新年を迎えての抱負」



沼田 朝陽  
(104卒・那珂)

日工同窓会員の皆様、明けましておめ  
でとうございます。

日専校を卒業し社会人5年目を迎えま  
した。これまで無事に会社生活を送って  
いるのは、同窓会員の皆様をはじめ上司  
や職場の方々など多くの皆様の支えが  
あつてこそだと思います。改めて心から  
感謝いたします。

私は現在、半導体評価装置を製造する  
業務に励んでいます。半導体評価装置はと  
ても複雑な装置ですが、職場の先輩方  
のご指導のおかげもあり、微力ながら少  
ずつ力を付けることが出来ていると思  
います。

今では次世代機と呼ばれる新製品の製  
作にも携わることができており、先輩方

(5頁の続き)

からいただいたアドバイスや今までの成功や失敗の経験が為になっているなど実感しています。少しずつですが後輩も増えてきましたので、後輩達の良い目標になれるよう、また、職場の先輩方に追いつき追い越せるよう、日々の業務に励み更なる知識と技能の向上をめざし頑張りたいと思います。

最後になりますが、同窓会員の皆様は健康で実りある一年になりますよう祈念申し上げ、新年の抱負とさせていただきます。

「新年の抱負」



野澤 駿介  
(104卒・水戸)

同窓会員の皆様、あけましておめでとうございます。

日専校を卒業し5年の月日が経ちました。先輩方の抱負にもありましたが、時が過ぎるのは早いものだと20代ながら痛感しています。歳を重ねるごとに時の流れが早く、寂しい思いもありますが、職場でも、プライベートでも尊敬している人達に囲まれ、充実した時間を過ごせていると実感しています。

さて、卒業してから現在までを振り返ると短い期間ですが、技能五輪を3年間行い、他企業の選手、指導員、委員の方々と出会い切磋琢磨し、現場に配属され現在は溶接以外の業務を行い、慣れない

NCプログラム作成に苦戦している所で、職場では多能工化が求められています。技能五輪の選手時代を思い返すと、出来ないと思っていたことも、出来るまで突き詰めてきました。あの時の自分を思い返し、仕事にも活かしていきたいです。

最後になりますが、同窓会員の皆様は健康でより良い一年となります事を祈念いたしまして、新年の抱負とさせていただきます。

第61回技能五輪全国大会  
入賞者紹介

金・銀・銅賞は、1面で紹介した。ここでは「敢闘賞」入賞者を紹介する。



埴 大樹氏  
(103卒・佐和)



鈴木 玲邦氏  
(106卒・日立Astemo福島)



吉田 開飛氏  
(106卒・那珂)



江橋 永都氏  
(106卒・那珂)



伊藤 卓真氏  
(107卒・那珂)



小倉 旭陽氏  
(107卒・那珂)



伊藤 和真氏  
(107卒・佐和)



三津山 勲氏  
(107卒・日立Astemo山梨)



竹田 昂氏  
(107卒・日立)



岩本 隆希氏  
(107卒・土浦)

令和5年度茨城県技能者表彰  
3名が受賞(県知事表彰)

甲高 次夫氏(71卒・日立)  
《発電機・電動機組立工》

長年にわたり産業用電動機や発電機等の組み立て作業に従事。大型化・効率化が進んだ産業用電動機の組み立て作業の



小澤優太郎氏  
(108卒・多賀)



野尻 佳希氏  
(108卒・佐和)



佐藤 拳氏  
(108卒・水戸)

第61回技能五輪全国大会入賞者 ( )内は60回大会を示す

	出場者数	金	銀	銅	敢闘賞
日立グループ	39	0(3)	6(5)	7(3)	13(13)
三菱重工	5	1(1)	1(2)	1(0)	0(0)
計	44	1	7	8	13



改善に優れた功績を上げた。電動機据付時の芯出し作業等の卓越した技能を持つ。また、事業所内教育施設の指導者を務めるなど若手社員にも積極的に取り組み、後進の育成にも尽力している。



長年にわたり金属閉鎖形配電筐体及び筐体部材制作業務に従事。数値制御タレットパンチプレス加工やベンダー曲げ加工技能に優れ、効率的な作業治具を考案するなど、信頼性の高い製品の安定生産に貢献。また、技能検定委員を務める業界の技能向上に尽力しているほか、社内の後進育成も行っている。



長年にわたり精密NC旋盤等の機械加工に従事。電子顕微鏡に搭載される電子線部品の超精密加工に精通し、新製品開発にも貢献。高精度加工法の確立等による機械加工部品の信頼性向上を実現した。また、技能五輪全国大会金賞受賞者を多数輩出するなど、後進育成にも尽力している。

令和5年度厚生労働大臣表彰

卓越した技能者「現代の名工」2名が受章



渡辺 誠二氏 (70卒・日研)

〈技能功績の概要〉

入社以来、長年にわたり多種多様な研究開発用の実験装置部品の製作に従事し、特に旋盤加工においては、高精度部品や複雑形状部品、特殊材料部品を多数手がけており、研究開発の成果に寄与している。

また、これまでに培った加工技術・技能を生かし、後進の育成に尽力しており、茨城県の技能検定委員としても長年にわたり検定試験の運営に貢献している。

この度、令和5年卓越した技能者（現代の名工）の授章式が11月13日に厚生労働省において執り行われ、拝受させていただき、身に余る光栄と今後の責任の重大さを改めて痛感しました。これもひとえに会社関係者を始め、これまで支えていただきました職場の上司、諸先輩方ならびに日工同窓会各位のご支援ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。1982年桜の満開な時期、初めて親元を離れ希望と不安のなか寮生活がスタートしました。朝6時起床か

ら10時就寝まで厳しくも楽しい寮生活を続けられたことは、今日までの会社生活の原動力となる貴重な体験でした。

卒業後は機械研究所に配属となり、2005年に日立研究所に統合され、研究所特有の多種多様な試作製品の加工に携わりました。そこでは作業ごとに材料、大きさ、形状が異なり、柔軟な発想と高い加工技術が求められ、毎日が苦勞の連続でした。特に高精度部品や複雑形状が要求される加工などは治工具が非常に重要で、先輩方の治工具や加工方法など見て真似てやってみて、少しずつ自分のもの出来るようご指導いただきました。

現在は世界ナンバー1の製品開発をめざす研究者の役に立てるよう職場の作業者たちと加工方法、改善を凝らしながら日々精進しています。今後はこの受賞に恥じぬよう自覚と責任を持ち、諸先輩方から受け継いだモノづくりのDNAを後輩達に継承し、研究開発グループの発展と社会に貢献出来るよう頑張る所存です。最後になりますが、これからも引き続き皆様方の変わらぬご指導ご鞭撻のほど賜りますようお願い申し上げます。



高橋 忍氏 (72卒・那珂)

〈技能功績の概要〉

長年にわたる技能の錬磨により電子顕微鏡・半導体検査装置・分析装置における微細溶接から大物溶接まで、正確かつ美的な溶接と真空評価技能を併せ持つ。これまで培った溶接知識により不具合原因の確かな特定新製品開発に寄与し、効率的な接合法や条件を提案することで製品性能の維持向上に貢献している。

また、溶接技能員の拡充に努め、献身的な技術指導により事業所内外で溶接技能者資格における合格者を多数輩出した。

令和5年度『卓越した技能者（現代の名工）の表彰』を拝受させていただきました。日立ハイテクとしては旧那珂工場時代より通算で10人目であり、「金属溶接・溶断部門」で初の栄誉に欲しました。これは先達が事業所の持つ高度な製品技術の具現化に、真摯に取り組み築いた技能の賜物であり、その代表として受賞させていただいたと捉えます。ご指導を賜った日工同窓会をはじめとする諸先輩や上司、同僚への感謝に堪えません。1987年に入社当時、溶接者は8名で事業場の全製品を網羅してい

ました。TIG溶接とガス溶接に大別され、少数精鋭で高度な技能を有する方々ばかりでした。いつかは追いつき追い越したいとの念で、作業の一举一動を凝視したことを思い出します。

各種製品は時代とともに高性能化が図られ、緻密な溶接や検査仕様となりましたが、先達は技能研鑽と作業の作り込みにより、設計要求を満足し製品を世に送り出してきました。これは『日立のモノづくり』の真髄であると考えます。

近年、『仕事のやりがい』が問われますが、私は日専校時代より、人の技能で見た目や強度・製品性能が顕著に反映される溶接の技能向上に「やりがい」を感じていました。何を思ったか入社1年後、間接業務に憧れを抱き社内教育機関（日工専）を一度の約束で受験させていただきました。作業後に毎日深夜まで猛勉強の末、結果は点数足らず不合格。しかし、今思い起こすと当時の上長は、この約束に溶接職場の未来を託していたのかもしれない。仮に合格して間接業務に就いても、一過性の憧れに「やりがい」は見いだせなかつたでしょう。世の中では様々な仕事がありすが、突き詰めていくといずれも奥が深く、『これで良い』と満足・妥協してはなりません。社内では第一人者かもしれないが、世間からすると「お山の大将」的存

在であることが常です。

今回の受賞に甘んじることなく自己研鑽はもとより、日専校で学んだ日立精神を糧に10年後、20年後の『日立のモノづくり』に繋げられるよう取り組む所存です。引き続き、日工同窓会会員各位のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

第53回茨城県職業能力開発促進大会表彰者

松崎 修氏 (65卒・本部会員)

○技能検定永年功労者・協会長感謝状

瀨川 憲二氏 (74卒・土浦) (任上げ)

○多能技能士・協会長表彰状

天野 昌樹氏 (79卒・那珂)

下谷 宝生氏 (96卒・那珂)

後藤 章吾氏 (101卒・佐和)

伴場 艶氏 (105卒・多賀)

荒井 優太氏 (102卒・佐和)

齊藤 豊城氏 (105卒・佐和)

菊池 侑氏 (105卒・佐和)

○ものづくりマイスター認定者

瀨川 憲二氏 (74卒・土浦) 電気機器組立て  
吉江 圭司氏 (75卒・水戸) 機械加工  
根本 和博氏 (79卒・水戸) 機械加工

# 在会35年(74卒)同期会開催される!

2023年11月11日(土)に、ホテル・テラス・ザ・スクエア日立において、在会35年(74卒)同期会が開催されました。

74卒の同期愛が強いせい、新型コロナウイルス感染の制限も緩和さ



日工同窓会在会35年(74回卒)同期会  
2023年11月11日

れ、参加者の感染予防を徹底することで、開催する運びとなり、遠くは新潟県から総勢23名が集結しました。記念撮影の後、佐和支部の力石隆弘君からの突然のご指名により、那珂支部の私、鎌田政人のつたない乾杯でスタートし、各テーブルで近況報告や担任の先生や部活動の監督のことなど昔話に花が咲き、5年後の在会40年同期会の幹事を決める際には、同期で最も優秀といわれた神奈川支部の蝶野佳司君を推薦する声が上が

り、満場一致で決定した。そして、大盛況のうちに佐和支部の小野寺隆君が締め、さらに5年後の再開を約束し、在会40年同期会幹事の蝶野佳司君の挨拶で閉会しました。

本会を通じて、私は、年齢を重ねるごとに、同じ屋根の下、同じ釜の飯を食い、苦楽を共にした仲間と今でも喜びや苦しみをかちあえる嬉しさと同期のありがたさを感じました。5年後は、もっと多くの同期が集まってくれることを願います。

## 在会40年(69卒)同期会開催される!

2023年11月18日(土)にホテル・テラス・ザ・スクエア日立において、在会40年(69卒)同期会が開催されました。

開催日が近づくにつれ、インフルエンザ感染が増加傾向にあり、参加者の感染予防を徹底し、開催されることを望まれました。

遠くは埼玉県から正会員以外の会員を含む総勢14名が集まりました。記念撮影の後、下館支部 池羽正和の乾杯でスタートし、10年ぶりの同期会ということもあって、各々のテーブルで近況報告や山崎支部武



日工同窓会 在会40年(69回卒)同期会

参加者一同より賛同を戴き、来年元気な姿で再開することを誓い、盛況のうちに閉会しました。

現在、来年度の同期会の幹事を決めて、各支部の参加者を手分けして、正会員以外を含む全卒業生を対象とした名簿作成に取り掛かっているところですが、

最後に、このような行事を企画、開催していただいた同窓会本部企画委員会をはじめ、役員各位に厚く御礼申し上げます。

藤昌義君が持参した入学当時の学校新聞を見ながら日専校時代の昔話に花が咲き始め、次第に来年も同期会を開催してはどうかとの声を持ち上がってきました。

締め挨拶で本提案が出されると、

(記:池羽 正和)

# 学校だより

## 2023年

### 12月の資格試験一覧

この期間に日専校生が取り組んだ資格・検定試験の一覧を記載する。

●12月16日 危険物取扱検定

(全学年)

### 寮消防避難訓練

11月30日、日専寮にて本年度2回目の消防避難訓練を実施した。前回は授業中の災害発生を想定し、校舎や実習場からの避難訓練であったが、今回は寮からの避難を想定した。その目的は、いずれも、災害や緊急事態が発生した際に、教職員及び生徒が安全かつ迅速に避難する為の準備と訓練を行うものである。今回は13時15分に強い地震が発生し、寮の厨房より火災が発生。緊急事態を促すた



寮消防避難訓練

めに非常ベルを鳴動させ、寮内放送にて避難指示が出た後、即座に避難を開始するというシナリオで実施した。また、日立消防職員にも協力して頂き、避難時の状況を見て頂いた。他、水消火器の取扱いについて指導頂き、生徒が初期消火訓練を体験した。最後に消防職員から、緊急事態が発生した場合についての訓話を頂き、終了した。今後も万が一の有事に備え、避難訓練を計画して実施していく。

### 安全モノづくり教育

12月1日に日立G.L.S多賀事業所にて、生徒と教職員が安全・モノづくり教育を受講した。内容は、安全教育では「安全の必要性、安全に作業するために、5S3定について、ヒヤリハットの事例」、安全体感では「手袋切創体感、ドライバー巻き込まれ体感、コンセント発火体感、転倒体感(滑り、転がり)」、モノづくり体感では「トランプ配り、ピンボード体感、ネジ締め体感」などを受講した。実務現場での安全・モノづくり教育として貴重な機会であり、今後も事業所と連携して教育を進めていきたい。

2年電気科 木下 空宙

今回の安全教育では、目的や5S3定の大切さなどを、ビデオを活用しながら事例で説明していた。また、とてもわかりやすく、自分の中でもイメージしやすい内容でした。ま



安全モノづくり教育

た、実際に工場内の設備を活用して、安全やモノづくりを体感し、標準時間と間に合わせる事の難しさや、思い込みやルールを守らないことによる怪我のリスクを知ることができました。自分の中でも良い経験になりました。これから私も新入社員になるにあたって、「自分の身は自分で守る」ということを心に留め、その場のルールをしっかり理解し、分からなければ人に聞くこと、そして自分勝手な行動は絶対にしないことを意識して、行動していきたいと思えます。

### 入学試験

12月6、7日にかけて、2024年度生の入学試験を実施した。近年、少子化の影響が顕著に現れ、日専校のみならず、県立・私立ともに生徒の取り合いになっている。本校も人材確保に苦勞しており、従業員向けの説明会を開催したり、アウトリー

チ事業を展開するなど、幅広くPR活動を展開しているが、厳しい状況に変わりはない。来年度は70名を超える生徒を迎えることになるが、同窓会員の皆様の周りにいる中学生に、ぜひ本校の紹介をお願いしたい。大学進学が当たり前になる中、その後の就職を考えれば、将来日立グループで働きたい生徒にとっては、最短の道となると思う。



入学試験

### 耐寒ランニング、日専校マラソン大会

例年、マラソン大会に備え、事前に約1週間、平日の朝の授業前に、学校グラウンドで「耐寒ランニング」を実施している。今年度も12月13日から4日間実施した。体育委員のリードにより、1、2年生全員(3年生は工場実習中)がラジオ体操、日専校体操の後、グラウンドから校舎前の坂道、匠の道(学校内の林間)を走る。その他、体育の授業や部活

動でも、この時期はランニングの練習を行っている。そして、2年ぶりに「第54回日専校マラソン大会」を12月21日晴天の下、ひたち海浜公園にて開催した。生徒たちは、元気に園内を駆け抜け、全員が完走した。男子個人の部は2年機械溶接科の椎名慧音、女子個人の部は1年機械溶接科の大橋由依が優勝となった。ク

(10頁へ続く)



耐寒ランニング



日専校マラソン大会

(9頁の続き)

ラス対抗は2年機械溶接科、部活対抗はバスケットボール部が、それぞれ優勝した。生徒たちはお互いに応援し合い、皆が温かい気持ちで終えることができた。

### 技能五輪交流会



技能五輪交流会

12月15日、日専校体育館において第1回技能五輪交流会を実施した。当日は、日立グループから技能五輪全国大会に出場した8事業所の指導員と事務局スタッフ19名が来校し、事業所概要および技能五輪の職種・指導体制・訓練内容などについてご説明いただいた。参加した2年生からは、集中力の保ち方や緊張のほぐし方、日専校在校中に身に付けるべきスキルなど多くの質問が出された。技能五輪出場をめざしている生徒だけでなく、配属先を検討している生徒にとっても、技能五輪や事業所を詳しく知る良い機会となった。

多くの生徒がさらなる高い目標を掲げ、その達成に向けて勉強や実習に取り組んでくれることを期待している。第2回は職種別にグループ分けをして、指導員と生徒との意見交流会を予定している。

### 学校、寮清掃

年内最終日の前日12月25日の午後、全校生徒により学校と寮の清掃を行った。日専校では長期休暇前に関わらず、定期的に生徒による校内の環境整備を行っており、その目的は「学校、寮をきれいにして生活しやすくする」「生徒たちが主体的に考動する」「5S3定の原理原則を学び、入社後の安全につなげる」とことである。この活動では、各清掃エリアでリーダーを設定し、リーダーを中心として、生徒たちが、清掃範囲、方法を考え、安全第一で進めている。当日は、この1年間使用させてもらった学校と寮の設備に対して、感謝をもって入念に清掃した。



学校、寮清掃

### 考動アクション委員会報告

考動アクション委員長

2年電気科 崎川 真之介



この度、日専校のリーダーとして考動アクション委員長を務めることになりました。崎川真之介です。学校というチームのリーダーは、生徒全員を導くことが仕事なので、そうした仕事ができる嬉しさがある反面、任せられる責任感が身が引き締まる思いです。しかし、それに打ち勝つことで、真のリーダーとなり、充実感や達成感を得られるように頑張りたいと思います。

もらいます。2つ目は模範となつて行動することです。自分たちが模範となることで、個々の課題を見つけて、改善、対策する力を身に付けてもらいたいと思います。3つ目は相互指摘の意識向上です。生徒間で指摘し合うことにより、マナーやモラルの向上、気づき力を付けることができると思っています。

次に主な活動内容です。まず、考動アクション委員会の3つの内部組織である、学校委員会、寮委員会、部活動委員会の各委員長と話し合いを行い、各活動の共有、他委員会からの意見収集を行います。そしてそれを縦方向に展開します。例えば、学校委員会では、委員会から各クラスへアドバイスを行い、クラス活動の改善をサポートします。部活動委員会は、各部の部長と話し合いを行い、部活動や問題点を共有して、改善案を作成してもらいます。そうした活動を全校集会の場で発表することで、生徒全員が成長する機会を作ろうと思っています。自分に直接関係することだけではなく、様々な取り組みを知り、見識を広げて、気付き能力を高めていきたいと思っています。

私自身としては、リーダーとしての自覚をもち、行動することが大切だと思っております。内面を鍛え、メンバーと対話を繰り返し、泥臭くも時間をかけて仕事をこなしていこう

と思います。ものごとを自分から「やろう」と切り出して、人々をその方向へ全力で導いていく存在となれるように頑張ります。

**スローガン**

生徒スローガン  
「すべてにおいてトップレベルの人財になる生徒」  
自主性を磨き、工場などでも活躍できる生徒を目指す!!

プロジェクトリーダースローガン  
「一昧同心」...共通の目的を持ち、心を同じくすること  
自分から掲げた目標を達成するために、組織全体で心をつなげて、学校を良いものにするのに、遠慮なく頑張りたいと思っています。

考動アクション委員会 スローガン

**トップレベルの人財とは**

Hitachi Industrial Skills Academy

会社・工場が求めている能力が高いこと「即戦力」  
「人間力」「技能・技術力」

↓

- ・自ら気づいて行動する
- ・向上心をもって行動できる
- ・目標をもって行動できる
- ・あたりまえのことができる
- ・リーダーシップ力、フォロワーシップ力がある etc.,,,

⇒これを達成するために考動アクションやいつでも実践があり、各委員会の委員長がいる

© Hitachi Industrial Skills Academy 2023. All rights reserved.

考動アクション委員会 会社・工場が求めていること

# 新年のご挨拶

副会長・本部会員運営委員会主査 上野 栄一 (54卒)



本部会員の皆様、明けましておめでとうございます。どうぞご愛顧をお願いします。

2024年・令和6年は皆様にとりまして、どのような希望に満ちた年でしょうか。

さて令和5年度は「本部会員運営委員会」にとりまして設立30年の節目の年となりました。

記念行事として、9月末に観光バスを1台貸切り今泉会長、鈴木代表副会長、杉山先生をお招きして「小平浪平」生誕の地を41人で訪れました。今も地元が生んだ名士として栃木市により大切に保存されている事に感銘を受けました。

若き小平青年が、将来の日本を展望して勉学に励んだ「勉強部屋」は、今も当時そのままに保存されており、偉大な方であったことが忍ばれます。

もう一つの行事の目玉は、第49回「わが宿の集い」において、念願でありました行田 豊先生の講演を開催できたことです。ご講演のテーマ「人生百年、如何に生きるべきか」はまさに本部会員皆様の今後の生き

方の道標になるお話であったかと思えます。

行田先生から全員にプレゼントされた行田先生自筆の色紙も好評でした。久々の懇親会も大盛況でありました。

鶴の岬で実施した初めてのグラウンドゴルフもなかなか好評でした。100周年記念事業で植樹した桜の木周辺の手入れボランティアには、たくさんの方にお手伝いをいただき、奇麗に整備することができました。

同窓会館も建設して61年となりトイレ等の老朽化が顕著となりました。そこで1階、2階共に最新のトイレにリニューアルして会員の皆様が気持ち良くご利用出来るようになりました。これも大きな会館改修作業でありました。

以上、2023年度の行事を振り返つてきましたが、実り多い1年であったかと思えます。

2024年度も本部会員の皆様が多数参加して頂ける行事を役員の皆様と計画、立案、実施して行きたいと思っております。是非、ご参加下さい。最後に、今年が本部会員の皆様にとりまして幸多い年でありませうよう祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新たな企画

### 第3回ボランティア活動行われる

11月18日(土)、昨年度より本部運営委員会の新たな活動としてスタートしたボランティア活動の第3

回目を実施されました。

当日は、天候に恵まれ日専祭と重なりましたが、学校側の配慮により駐車場の確保等に問題はありませんでした。

参加者は18人で、最年長の関根幸一氏(44卒)をはじめ正会員の大津健氏(95卒・水戸)が「お世話になった日専校の恩返しに是非参加させてほしい」と刈り払い機を持参して参加してくれました。

日工同窓会創設100周年記念事業の一つであるグラウンド周辺に植樹した8本の桜付近の草刈り、野球ネットにまとまりつく葛の除去等を行いました。

参加された方には、各々鎌や手袋を持参いただきました。刈り払い機で作業出来ない桜の周辺を鎌で手際よく刈る人やネット立ち上げ部分を自前の剪定鋏にて刈る人、脚立に上

がりネット上方の葛をとる人等、桜周辺部を効率よく作業しました。最後に刈り払い機にて野球部部室周辺の草を刈り、10時からの作業もほぼ終わり、正午になる頃には「匠ロード」に集合して、今回のボランティア活動を企画・牽引した企画小委員会の調理によるバージョンアップしたカレーうどんに舌鼓を打ち解散となりました。

【最多6人が参加した58回卒の皆さん】作業後に校舎脇の58回卒卒業記念碑の前にて



次回(第4回)は5月25日(土)、今回と同じく日専校の桜の手入れを行う予定です。多くの本部会員のみなさんなら正会員の参加を是非ともお願い致します。

小室 道男(59卒)

# コロナ禍後、各地区活動(懇親会)が盛んに開催される

## 日立中央地区

### 第7回懇親会を実施

11月25日(土) 12時から、4年ぶりとなる当地区恒例の同窓会懇親会を老舗レストラン「しいな」にて実施した。今回の参加者は総勢15人であったが、新型コロナウイルスで途中3年間のブランクがあったものの、久しぶりの再会に思わず「いやー変わったものですか?」と、



お互いに確認しあう様子がみうけられた。懇親会開始前に先ずは、全員でレストランの看板をバックに同窓会の横断幕を前列に掲げ、記念撮影を行った。時あたかも、陽はまさに頭上にあり各自の頭部がまぶしく輝く様は、世に光を放つがごとくとの表現やいかに。

さて、いよいよ懇親会となり、名司会の杉山氏(53卒)の開会宣言でスタートとなった。まず中野地区長(48卒)の挨拶に続き、令和元年から令和5年までに他界された6名の会員に黙とうを捧げた。次に同窓会本部の近況報告として、本部

会員運営委員会を代表して荻野氏(53卒)から、同窓会全体の会員減少など切実な問題点などを報告した。続いて乾杯となり、発声は桑名氏(41卒)より元気に音頭をとって頂き、懇親に入った。途中で

事を代表して豊田(49卒)から簡単に挨拶後、各会員の近況報告に移った。初めに関氏(43卒)から同窓会100周年記念事業実施までの同窓会の歴史や経過など、貴重な経験談を披露いただいた。また、パソコンソフトのウインドウズ10から11へのバージョンアップ方法についても資料を配布いただいた。その後はテーブルの着席順にスピーチとなり、各自思いの現況や思い出話などで懇親会は大いに盛り上がった。

久々の懇親会もたけなわとなり、予定の時間があつという間に迫り全員で校歌を斉唱し、閉会の言葉を岩島氏(50卒)に締めていただき、次の再会を約束しながらお開きとした。 豊田 和明(49卒)

## 日立中部I地区

### なんと、初回から

### 連続18回の2千円会費

2023年11月9日、第18回中部I地区懇親会が、神代光昭氏(48卒)の経営する「池の川末廣」にて開催された。従来は多賀市民会館小ホールを利用してしたが、ホールでの飲食がいまだに解禁されないため、今回の場所となった。コロナ禍の影響で実に4年ぶりの懇親会で、参加者は来賓の副会長であり本部会員運営委員会主査の上野栄一氏(54卒)、



卒)の音頭で乾杯、宴に入った。初参加者のあいさつの後、一人ひとりの近況報告があった。

余興は私と、神代氏のハモ二カ伴奏で校歌、吉田メロディー等を全員で歌った。突然、日本酒をちびり・ちびり飲んでいた米野勝男氏(40卒)が前に進み出て、全曲見事な指揮をしたのには皆驚いた。今まで音楽活動は全くないとのことで更に驚いた次第であった。また、「あゝ上野駅」では上野武氏(46卒)にセリフをお願いする粋な?一幕もあった。

平山秀康氏(49卒)は小型カラオケ装置を持参して演歌を披露した。

集合写真は幹事の石井貞信氏(52卒)が、毎回懇親会が終了する前に写真屋に赴き、参加者全員にプリントし配布している。

定番の「寮歌」、そして鈴木敏行氏(52卒)の締めの挨拶で久しぶりの懇親会は終了した。

今回の最年少は53卒の私と佐々木明生氏であり、この状態が長い間続いている。私達より若い会員は56卒〜69卒の19人であり、今後は若い人達を何とかこの会に呼び寄せられるかが最大の課題である。

榊原 愛正(53卒)

日立北部地区

第7回懇親会開催

2023年11月11日(土)、日立北部地区第7回懇親会を実施した。2019年11月9日に第6回懇親会を実施してから4年ぶりのことだ。参加人員は8人。前回より8人少なかった。

8月26日(土)に第1回幹事会を行い、4年ぶりに同じ会場で開催することを決定した。

同窓会本部から案内と出欠連絡ハガキを会報と一緒に郵送していただ



き、参加可否と近況報告をいただくことにした。その結果、92人の会員に対し欠席58人、出席8人、連絡なし26人となった。

10月28日(土)に第2回幹事会を行い、懇親会の決行(参加人数は少しでも実施すること)、懇親会の式次第、進行担当などを決定した。

会場は日立市滑川浜の葉湯温泉旅館「長寿の湯」。旅館の車で小貝浜入口から豊浦小入口を経由して小津駅を回り、「長寿の湯」に到着。旅館のご主人には大変お世話をかけたが、これで直接参加も含め、8人全員が集まった。

進行の資料や名札を配布して座席を決め、全員で集合写真を撮って、会はスタートした。

開会の挨拶では稲葉栄次氏(48卒)(前回までの地区長で、本部同窓会でも活動していた)が2021年地区長を退任)が、4年ぶりの再会を喜び、「継続してまた来年も集まろう。」と開会を宣言。

乾杯は今年米寿を迎えた宮本昌和氏(40卒)が担当

コーラスやボランティアをされ、散歩で足腰を鍛えるなどしてお元気な声で高らかに乾杯を宣言した。アルコールではなくウーロン茶での乾杯であったが、健康の秘訣を参加者に伝えていただいたように思う。

懇談中に参加者全員に近況を報告いただいた。色々な場面で活躍されており、元気な方も、老化と戦いながら日常を過ごしている方もおり、話の途中に横から口を挟ませていた。大きなお話を聞かせていただきながらの楽しくも、人生に参考になるお話であった。

あつという間に2時間が過ぎ、20分程度延長してから、吉田光夫氏(62卒)が閉会を宣言。引き続きの校歌斉唱では宮本氏が、日専校で最初に校歌を歌ったときは、先輩の作曲家・吉田正氏が指導に来てくれて一緒に歌ったと言われ、一同びっくり。それから8人全員で校歌を斉唱し、来年は寮歌も歌おうと約束し会を締め切った。

平塚 宣行(58卒)

日立十王地区

第9回懇親会開催

2023年11月25日(土) 13時より地区内の国民宿舎「鶴の岬」において15人が参加して4年振りの第9回日立十王地区懇親会を開催した。従来の寿司店は高齢化により閉店

となり今回より「鶴の岬」での開催となった。この飲食代は多少高いが、送迎バスがあり幹事としては安心であり、サービスも良かった。



懇親会開催にあたり金澤和彦地区長(51卒)の挨拶をいただいた後、このコロナ禍の4年間で亡くなった平野博之氏(38卒)、喜多明弘氏(50卒)、篠原一氏(51卒)、菅原幸夫氏(52卒)、渡辺正幸氏(52卒)のご冥福を祈り黙とうを捧げて追悼した。

懇親会は、長老の濱島民治氏(42卒)による乾杯の音頭で始まり、参

加者の近況報告を行った。今回初参加の吉田豊氏(54卒)は、日高工場出身で大震災時に北茨城市から日立市に移住。PC等に精通しているよううで心強い限りである。全員近況報告後、カラオケに移り久しぶりの歌に自己満足のようなであった。制限時間も迫る中、肩を組んで校歌・寮歌を声高らかに斉唱し、最後に恒例の宮崎博文氏(56卒)のエンルでお開きとなった。



帰りのバスの中では、靴の履き違えの話題で盛り上がり、結局犯人は、なんと某大先輩であった。最後まで本当に楽しい一日であった。

石井 浩(58卒)

48回卒

5年ぶりの開催

しかし、最後の同期会

2023年10月12日、日立市内のホテル天地閣にて第6回48回卒同期会が開催された。

コロナ禍で、喜寿の祝いも出来なかったが80の坂を元気に登り切るためにと実に5年ぶり。

絶好の秋晴れに恵まれて出足好調、開始の30分前に予定の19人が出席した。

会に先立ち会場脇の3階中庭にて記念撮影。1枚の写真を撮るのになんだかんだと口うるさい。



毎度おなじみの小林君の司会で開会。卒回代表の宇原君が挨拶。経過報告などと共に、全体の同期会は今回が最後とし、今後は同好会とする。

出席者の中から「とりまとめが必要」との意見あり。小島が死ぬまで、いや、死んでもやるとの発言。

その後、出席者から、近況などを報告。ゴルフ好きの後藤君が「スコア〇〇だ」の発言に「俺はそれより良い成績で回っている」との会場からの声。後藤君がしよんぼりする場面も。

会員の中にはまだ現役の人もいて、その元気に驚く。

卒回副代表の千田君は現在、女性グループの卓球を熱心に指導。書が得意で賞状書きの資格を持ち、今でも頼まれると書いているという。会場内の横看板や写真用の看板は氏の作である。

小林君が郵便局に展示している銘文の書を持参し、希望者に配布。どの文を選ぶかによって、その人の生きざま等を判定すること。ちなみに、私が選んだのは「人生はいくつになってもこれからだ」である。

はて、どのように判断したのやら。たつぷり3時間とつた懇親もお開き近くとなり、肩を組んで校歌の大斉唱。歌声は太平洋に響き渡った。

二次会は大半の出席者がJR常陸多賀駅近くのカラオケ店に移動。それぞれが自慢ののどを披露した。

小島 喜代一(48卒)

56回卒

佐和支部同期会を開催

56回卒佐和支部同期会は元佐和支部会員が中心となり活動しております。メンバーは13人。

コロナの規制が5類に緩和され、ほぼ通常の生活に戻りつつあることから3年半ぶりで7月に再開。今回、本年度の2回目を11月16日17時から11人の参加で実施しました。

場所は以前から利用している、ひたちなか市の「山甚道場」。

今回の幹事は助川君、植田(旧姓井上)君で、会員が入店毎に、勝手に呼び水として生ビールを注文。

「久しぶり、元氣？」等と声掛け合えばすぐに和気あいあいとなります。打越君の発声で乾杯、酔いが回ってきた頃、近況報告を行えば、いつものごとく話の途中で脱線しながら会話が



弾みます。又、恒例?となった植田君から新米が提供され、一同感謝、感激です。

古希も過ぎ、話す内容はやはり健康のこととなります。助川君がゴルフ場で転倒して怪我した話には更に齢を感じた次第でした。

とにかく、皆の笑顔から元気がもらえました。心地良い酔いを感じながら最後は小林君が締めを担当。

次回の開催は来年7月、泊りでやる事に決定。また元気に再会する事を誓い合い散会しました。岩淵俊彦(56卒)

コラム

「こだわり人生」第2回

小島 喜代一(48卒)

記録するということ

MLBの大谷選手が二度目のMVPを満票で獲得した。記憶にも記録にも残る選手だ。

昔の話になるが日本のプロ野球では、記憶に残るのは長嶋、記録に残るのは王だと評されたこと記憶している。

子供の頃から記録するのが好きだ。小学校何年生か忘れたが、夏休みの自由研究で、自分で観測した一年間の気象記録をB5のグラフ用紙をつないで表し、学校の廊下に張り出した。ポロポロになったが今も保存している。

中学時代の日記やスコアブック、日専校時代の「実習日誌」も同様だ。卒

業後に設立したOBバンドの記録、同窓会のこと。なんでも記録して取ってあるので家中書類だらけだ。

記録という点では音や映像もある。レコード、テープ、CD、DVD等々。演奏会をオーブンリールで生録したことも。最近はハードディスク、各種メモリーと記録する媒体もさまざまだ。

映像を記録するのにカメラがある。写真を見るのは好きだが、私はカメラを使わない。

記録は何のためにするのだろうか。出来事を残すことはもちろんある。しかし記憶のためと考えられる。

ラジオドラマ「君の名は」の番組の冒頭で「忘却とは忘れ去ることとなり忘れ得ずして忘却を誓う心の悲しさよ」。

また森山良子に物忘れを歌った「Aie Aie Aie」がある。

忘却曲線によると最初の20分で約60%を忘れてしまうという。

そのためにこまめにメモを取る。スマホで、もつと簡単にメモが取れないものかと思う。

年齢とともに物忘れもひどくなる。私事であるが妻は冷蔵庫の前まで来て何を取りに来たか忘れる。母親を自宅で介護していた時、「どちら様ですか」と言われたときはショックだった。

そんなに記録していつ見るのですか。そんな声が聞こえてきそうなか、今日もひたすら記録している。

そんな私の人生である。

日専校歴史写真[12] 1回~4回生「大正元年のお祝い」1912(大正元)年「正月のお祝い」1913(大正2)年

日専校に残る、学校に関する写真には、明治時代のものはなく、最も古いものは、この1912(大正元)年と1913(大正2)年の2枚である。どちらも1回~4回生を、芝内の徒弟養成所で撮影したものである。

【大正元年のお祝い】

1912年、大正元年を祝して1回~4回生一同で撮ったもの。創立当初の3年間くらいは特に入学試験はなく、春秋2回の進級試験があった。徒弟は15、16歳の少年が中心で、徴兵検査の年齢を規準としたために20歳に達した時点で卒業という規約があった。1910(明治43)年入校の全員は見習工であり、翌年入校者も一部は見習工だった。1912(明治45)年から正規の募集になったようだが、それでもまだ入学試験はなく、小学校卒業以上を資格として、特に年齢制限はなかった。前列右から8人目は、初代徒弟寮監の宮手義雄氏、日立の铸件係の社員で、徒弟養成所でも鑄造実習の教官であった。

【正月のお祝い】

1913(大正2)年、芝内寮の玄関前で1回~4回生一同で撮ったもの。国旗の上



1913(大正2)年 正月のお祝い



1912(大正元)年 大正元年のお祝い

にある模型飛行機は生徒たちが製作したもので、左側にプロペラ、翼の下にモーターが取り付けられている。前列右から6人目が寮監の宮手義雄氏 ※本連載では日工同窓会報(記念会報含む)から引用する場合があります。 【同窓会ホームページ 歴史写真館ユーザー名…rekishi パスワード…oban100

表彰

◎馬場発明奨励賞

「制御盤組立配線作業における作業効率向上治具の開発」



大内 翼氏 (89卒・大みか)



名久井勝也氏 (90卒・大みか)

461号お詫び訂正

前号の本部会員の頁9ページの栃木市立文学館玄関前での写真のキャプションに誤りがありました。お詫び訂正いたします。

(正) 4人目が今泉会長 (誤) 小泉会長

◆連絡事項◆

- 1. 2024年度より通常会費に戻ります
- 2. 2023年度総会のご案内
  - ・開催日：2024年3月23日(土)
  - ・場所：シビックセンター マープルホール
  - ・内容：第1部 総会 15時~15時50分
  - 第2部 懇親会 16時~17時30分



▼日工同窓会もコロナ禍の影響を受け、約3年間は思うような活動ができなかった。この

間、会社の事業再編などにより、会員を取り巻く環境も大きく変わってしまった▼新型コロナウイルスは昨年5月に5類に移行された。支部や本部でも少しずつ対面での活動が再開され、会員や役員の生の声を聞く機会が増えてきた▼我慢や苦勞してきたことが報われ、各種行事の開催などによって、これまで以上に会員相互の交流が活発になることを願っている。

(細)

2024年を迎え、能登半島地震に羽田空港航空機衝突事故と、想像だにしない出来事が相次いで発生した。新型コロナウイルスが第5類に移行してから久しぶりとなり、ウキウキした気分を迎える「通常」の正月となるはずであった。石川県も羽田空港も出張で訪れる機会が多いため、非常に驚いていると共に悲しい災害である▼デジタル変革やIT化が進められている昨今であるが、どちらの災害においても通信手段が遮断されたことで、結果的にアナログ的な手法を取る事により人命が救われたという▼我々広報委員会としても、本部や支部の行事が「通常」開催され、会員の皆さんに親しんでもらえるような「アナログ」な会報の作成を今年も継続していきたい。(之)

# 技能五輪競技風景

(課題に取り組む選手達)



電子機器組立て



田邊 奏詞 (108卒) 水戸

電子機器組立て



佐久間 大地 (106卒) 水戸

プラスチック金型



野尻 佳希 (108卒) 日立Astemo (佐和)

プラスチック金型



芳賀 一徹 (107卒) 日立Astemo (佐和)

プラスチック金型



小澤 優太郎 (108卒) 日立GLS (多賀)

工場電気設備



渡部 晴雅 (108卒) 大みか

工場電気設備



高曽根 大樹 (107卒) 大みか

精密機器組立て



関根 一輝 (108卒) 日立Astemo (佐和)

精密機器組立て



山村 侔生 (107卒) 日立Astemo (福島)

精密機器組立て



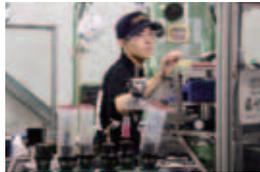
吉村 海生 (107卒) 日立Astemo (厚木)

精密機器組立て



飯村 琉真 (108卒) 日立GLS (多賀)

フライス盤



藤崎 蓮 (106卒) 日立ハイテク

旋盤



片野 諒人 (108卒) 笠戸

旋盤



谷 鳳人 (107卒) 日立ハイテク

旋盤



郡司 煌都 (108卒) 土浦

旋盤



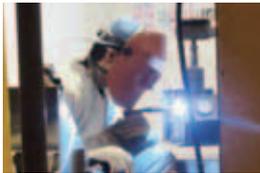
岩本 隆希 (107卒) 土浦

精密機器組立て



小河原 悟史 (108卒) 日立Astemo (山梨)

電気溶接



佐藤 旭 (107卒) 水戸

電気溶接



塩田 琉偉 (108卒) 笠戸

構造物鉄工



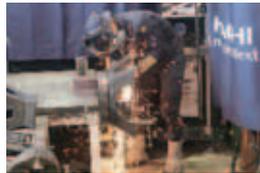
伊藤 光希 (108卒) 日立産機 (勝田)

構造物鉄工



竹田 昂 (107卒) 日立

構造物鉄工



鈴木 優斗 (106卒) 日立

電気溶接



大内 雄斗 (108卒) 水戸

電気溶接



佐藤 拳 (108卒) 水戸

電気溶接



風間 湧太 (108卒) 土浦

電気溶接



渡辺 哲平 (107卒) 土浦

電気溶接



寺門 颯真 (107卒) 日立

メカトロニクス



左: 鈴木 玲邦 (106卒) 日立Astemo (福島)  
右: 堀 大樹 (103卒) 日立Astemo (佐和)

メカトロニクス



大内 雄斗 (108卒) 水戸

メカトロニクス



佐藤 拳 (108卒) 水戸

メカトロニクス



風間 湧太 (108卒) 土浦

メカトロニクス



渡辺 哲平 (107卒) 土浦

メカトロニクス



左: 堀内 涼 (108卒) 日立GLS (多賀)  
右: 関根 大翔 (108卒) 日立GLS (多賀)

メカトロニクス



左: 高部 颯矢 (107卒) 日立GLS (多賀)  
右: 中山 凱介 (106卒) 日立GLS (多賀)

メカトロニクス



左: 伊藤 卓真 (107卒) 日立ハイテク  
右: 小倉 旭陽 (107卒) 日立ハイテク

メカトロニクス



左: 吉田 開飛 (106卒) 日立ハイテク  
右: 江橋 永都 (106卒) 日立マニファクチャリング

メカトロニクス



左: 伊藤 和真 (107卒) 日立Astemo (佐和)  
右: 三津山 勲 (107卒) 日立Astemo (山梨)